

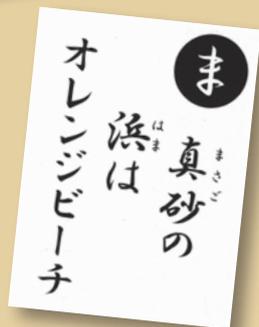
大室山 小室山

市議会だより

表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

「伊東かるた」とめぐる

“伊東の魅力”再発見



オレンジ ビーチ

海岸沿いに国道のバイパスが完成すると、市は浜辺を整備し、平成三年公募によってオレンジビーチと名付けました。米惣三兄弟の三男木下奎太郎の代表作「海の入目」の浜の真砂に文書けぼの詩碑があります。(伊東八景)

〜伊東かるた解説書より〜

※伊東の自然・歴史・文化を題材にした「伊東かるた（第二版）」（伊東かるたの会制作）の中から「伊東の魅力再発見」をテーマに、編集委員が選んだお気に入りの札を写真とともにご紹介します。

主な内容

- 3月定例会の概要……………【P. 2】
- 議会改革特別委員会……………【P. 11】
- 予算大綱質疑（8議員が質疑）…【P. 4】
- 常任委員会だより……………【P. 12】
- 一般質問（12議員が登壇）…【P. 7】



令和6年3月定例会

令和6年度一般会計予算を賛成多数で可決 特別会計6件、企業会計3件は全会一致で可決

3月定例会を2月20日から3月21日までの31日間の会期で開会しました

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市認第15号  討論	令和5年度伊東市一般会計補正予算(第5号)専決処分の報告承認について	国の物価高騰等対策としての住民税非課税世帯への追加支援に係る補正予算について、令和5年12月25日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	賛成多数で承認
市認第16号	令和5年度伊東市一般会計補正予算(第6号)専決処分の報告承認について	国の物価高騰等対策としての住民税均等割のみ課税世帯への支援及び当該世帯と住民税非課税世帯それぞれにおける18歳以下の子供一人当たり5万円を追加給付するための事業に係る補正予算について、令和6年1月29日に専決処分を行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市議第44号	伊東市手数料徴収条例の一部を改正する条例	戸籍法の一部改正に伴い、戸籍証明の広域交付及び戸籍電子証明書提供用識別符号の発行等に係る手数料について定めるとともに、関係規定の整備のほか用語の整理を行う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第45号	伊東市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の公布により、番号利用法別表第2が削除されること等に伴い、引用条項等その他用語の整理を行う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第46号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	地方自治法の一部を改正する法律が公布され、会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給を可能とする規定等が整備されたことに伴い、引用条項の整理を行う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第47号  討論	伊東市介護保険条例の一部を改正する条例	介護保険事業計画期間の更新のほか、介護保険法施行令の改正に伴い、今後の介護給付費の増加に併せ、保険料基準額を増額するとともに、保険料段階の増設と段階別の保険料の調整を行うことを主な内容とする条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第48号	伊東市婦人相談員設置条例を廃止する条例	困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行により、売春防止法が一部改正されることに伴い、婦人相談員設置に係る根拠規定が削除されることから、本条例を廃止するもの	市長	全会一致で可決
市議第49号	伊東市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、被保険者間の負担の公平化及び低・中所得者の負担軽減を図るため、賦課限度額の一部を引き上げるほか、附則における引用条項等用語の整理を行う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第50号	伊東市漁港管理条例の一部を改正する条例	漁港漁場整備法及び水産業協同組合法の一部を改正する法律の施行に伴い、「漁港漁場整備法」の名称を「漁港及び漁場の整備等に関する法律」に改めるほか、新たな占用料対象者の規定の追加及び占用料に関する別表第1の整理を行う条例改正	市長	全会一致で可決
市議第51号	伊東市地域污水处理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	市内3か所の地域污水处理施設のうち、川奈奥水無田污水处理場を公共下水道に統合することに伴い、施設の設置に係る規定の当該施設に係る項目欄を削除する条例改正	市長	全会一致で可決
市議第52号	伊東国際観光温泉文化都市建設計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例	川奈奥水無田污水处理場を公共下水道に統合することに併せ、これまで明確に規定されていなかった公共下水道排水区域外からの流入者に対する受益者負担金の規定を整備するとともに、延滞金に関する規定を整理するほか、減免に関する規定を整理し、負担金の適用除外の規定を新たに設ける条例改正	市長	全会一致で可決
市議第53号	伊東市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部を改正する法律の公布に伴い、単身入居者の要件の規定における同法の引用条項を追加するとともに、城星住宅の一部用途廃止に伴い、設置戸数を減らす条例改正	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第54号	伊東市水道事業給水条例の一部を改正する条例	生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の公布により水道法が改正され、所管省庁が「厚生労働省」から「国土交通省」に変更されることに伴い、関係条文等用語を整理する条例改正	市長	全会一致で可決
市議第55号	令和5年度伊東市一般会計補正予算（第7号）	各種事業の執行経費の整理、観光会館などの公共施設整備に係る経費、令和6年度当初にかけての経済対策事業に係る経費の追加を主な内容として、9億1,609万7,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第56号	令和5年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第2号）	車券の売上げが好調に推移し、見込みを上回ることから、歳入において車券売上金を増額し、歳出において、車券売上金の増額に見合う勝者投票払戻金や、一般会計への繰出金及び競輪施設改善基金への積立金の追加を主な内容として、49億6,109万3,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第57号	令和5年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	歳出における保険給付費の増額、歳入における県支出金の増額を主な内容として2,327万円の追加	市長	全会一致で可決
市議第58号	令和5年度伊東市霊園事業特別会計補正予算（第2号）	歳入における合葬式墓地販売等に伴う墓所使用料の増額及び前年度決算確定に伴う繰越金の増額、歳出における霊園整備基金積立金の増額を主な内容として777万7,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第59号	令和5年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	歳出における広域連合に対する保険料負担金の確定に伴う増額と、歳入における広域連合の決算見込みに伴う医療保険料の増額を主な内容として831万3,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第60号	令和5年度伊東市下水道事業会計補正予算（第3号）	収益的収支については、令和5年度決算見込みににおいて、消費税及び地方消費税が、還付見込みから納付になったことによる増減で、資本的収支については、国庫補助事業不採択などによる企業債、国庫補助金及び工事請負費の減額を主な内容とするもの	市長	全会一致で可決
市議第61号	令和5年度伊東市水道事業会計補正予算（第2号）	収益的収支については、不要メーターの売却に伴う不用品売却収益の増額及び令和5年度決算見込みによる消費税及び地方消費税の増額が主なもので、資本的収支については、開発負担金の増額及び計画の見直しによる委託料、工事請負費の減額を主な内容とするもの	市長	全会一致で可決
市議第62号 ～ 市議第71号	令和6年度伊東市一般会計予算、特別会計予算6件、企業会計予算3件	各会計の概要は4ページをご参照ください。	市長	4ページをご覧ください。



市議第四七号
《反対》 重岡秀子議員
 本条例は介護保険料の引上げの改定案である。引上げ幅を抑えるための基金の活用や、低所得者への配慮、段階の細分化などは評価できるが年金の減額につながることは必至である。さらに、介護報酬が引下げされ、利用料の引上げも検討される中、サービスの低下も懸念されるため、国費の増額

市認第一五号
《不承認》 政和会
 補正予算の内容についてはおおむね賛成するが、手続として、他市町では一二月定例会に議案として上程した例もあることに鑑みれば、本市でも一二月定例会後に専決処分をせずとも、さきの一二月定例会中に予算案を上程できた可能性があり、専決処分の適法要件該当性におお疑問が残るため不承認とする。

《賛成》 政和会
 修正予算の提出が現行制度上困難な状況ゆえに予算には賛成するが、新図書館再設計に関しては、追加費用を払わずに再度当初の設計契約の中でのやり直しについて再度模索し支出削減の方策を探るとともに、予算ありきの設計ではなく真

市議第六二二号
令和八年度伊東市一般会計予算
《反対》 大飼このり議員
 市民に寄り添ってほしい。小・中学校の給食に半額か三分の一でも補助できないのか。新図書館は功績だけを求めるならやらないほうがまし。人材・資材とも被災地復興に。駅前整備は議会には説明がなく審議の判断材料がない。市民はこの先も税や社会保険料が大きな負担。暮らしを底上げする積極的な予算組みが必要。

本会議で行われた討論の概要
 ※登壇順に掲載しています。

会派構成は11ページをご覧ください

を訴えつつ反対する。

に伊東市民の利便性向上に資するために必要十分な図書館建設を強く要望する。

《反対》 重岡秀子議員

新図書館は規模縮小の再設計予算が出されたが、予算内での入札の可能性や設計内容も不透明である。また文化施設整備基金も増額されたが、市内経済が深刻な中、好調な競輪収益なども給食費の無償化等の物価高騰対策や不登校対策など喫緊の課題へ配分することが必要であり、政策的な均衡を欠くと考え反対とする。

《賛成》 正風クワブ

認定こども園整備事業と市内小・中学校再編事業を進めることで、教育施設の適正配置が進み、教育環境を守りながら、避難所である学校の地域防災計画の見直しや、公共施設建築物の更新・統廃合・長寿命化などを計画することで、財政負担を軽減・平準化するとともに、廃校利用計画を進めていくことに期待する。

《反対》 田久保真紀議員

新図書館建設事業の再設計委託料五四〇〇万円は予算計上されているにもかかわらず設計内容が未定である。概要が分からなければ賛否が諮れない。事前説明もなく、これでは市民の納得も得られない。この先も建設費、人件費の高騰が見込まれ、再設計後、三七億円で建設可能か不透明である。よって予算に反対する。

《賛成》 公明党

市長施政方針に子育て政策や教育分野、DXの推進に重点を置いた『未来を拓く取組』の一層の進展を目指すことあり、新たに子ども貧困対策計画策定や初回産科受診料助成、小・中学校特別教室の空調設備整備、不登校対策、公共施設への公衆無線LAN整備等が盛り込まれた。市長の実行力に期待し、賛成する。



予算大綱質疑



動画はこちら

会派及び会派に所属していない議員から8議員が質疑しました

～市長施政方針及び各会計予算案について～

(文面の掲載量は各会派の人数に応じており、登壇順に掲載しています。会派構成は11ページをご覧ください。)

令和6年度 市長経営方針

輝く伊東の未来を創る、改革への挑戦

持続可能なまちづくりを進め、一人一人が輝き、夢と希望を形にできる未来の実現に向け、不断の改革によりさらなる挑戦を続けていく

主な新規事業

- 長期ビジョン策定事業
- 移住定住促進住宅改修支援事業
- 市ホームページリニューアル事業
- コミュニティセンター無線LAN環境整備事業
- 市立認定こども園整備事業
- 初回産科受診料助成事業
- 宇佐美漁港泊地浚渫事業
- 観光会館トイレ改修事業
- プロムナード整備事業
- 商店街共同施設設置等補助事業
- 地域公共交通計画策定事業
- 静岡県・伊東市総合防災訓練事業
- 小・中学校空調設備整備事業
- 生涯学習センター無線LAN環境整備事業

ほか

令和6年度 各会計予算

◎全会一致で可決、○=賛成多数で可決

会計別	区分	当初予算額	前年度対比	審議結果
一般	会計	295億2,000万円	104.3	○
特別会計	競輪事業	293億3,000万円	103.5	◎
	国民健康保険事業	85億4,600万円	98.4	◎
	土地取得	2,590万円	100.0	◎
	霊園事業	2,660万円	104.5	◎
	介護保険事業	92億9,900万円	101.7	◎
	後期高齢者医療	26億 500万円	110.8	◎
病院	事業会計	5億4,279万円	97.2	◎
下水道	事業会計	29億9,217万円	97.3	◎
水道	事業会計	28億5,335万円	109.0	◎
合	計	857億4,080万円	103.1	-

※病院事業会計、下水道事業会計及び水道事業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額

※計数は、それぞれ1万円未満を繰り上げているため、合計と内訳は一致しない。



正風クラブ
さとうしげし
(佐藤周議員)

伊東市立小・中学校再編事業の内容を伺う

市長

児童・生徒数の推移、教育環境の変化等を踏まえ、学校再編に係る具体的な対応を策定していく

「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針」に基づき、川奈小と南小の二校、東小、西小、旭小の三校を前期計画として統合してきた。

今後は、適正な学校の在り方として必要な規模の人数を考慮する中で、宇佐美地区、旧市街地地区、市街地近郊の住宅地区及び対島地区について、児童・生徒数の推移やICT化などの教育環境の変化等を踏まえ、後期計画として具体的な対応内容を策定していく。

学校施設維持補修事業費は妥当な予算額であるか見解を伺う

市長

例年、年間約三〇〇件の小規模修繕を行い、その他の大規模修繕や樹木伐採等の費用は別で予算計上している

学校施設の小規模な修繕については、学校施設維持補修事業費として小学校費で一三〇〇万円、中学校費で一三〇〇万円を計上し、このうち、各小学校に三〇〇万円、各中学校に二四七万円を学校の判断で利用できる修繕費として配当しており、全体で例年約三〇〇件程度の修繕を実施している。その他の大規模修繕や樹木伐採等の環境整備に係る費用については別で予算計上しており、学校施設の安全管理に関するものをはじめ、教育現場からの要望に対し、計画的に事業執行している。

『その他の質疑』二二項目



自由民主 伊東
いとうしげし
(井戸清司議員)

喫緊の課題である自主財源確保のため、市有財産を有効活用する等の積極的な施策展開について考えを伺う

市長

計画的な自主財源の確保を含めた組織的な判断材料となる指針作成について検討を進める

自主財源の確保の観点から、遊休財産の売却や貸付け等を積極的に推進していくことは、施設等の維持管理経費の削減のほか、貸付けにより財産収入を得ながら、新たな産業の創出や市内経済の活性化を促すことも期待できると考えており、議員ご指摘のとおり、市有財産を有効活用するなどの積極的施策展開が必要と考えることから、将来を見据えた計画的な自主財源の確

保も含め、組織的な判断材料となる指針作成の検討を進めていく。

市立認定こども園整備事業の今後の進め方を伺う

市長

地域の関係者からのご意見をいただくため、早い時期での協議会設立に向け、準備を進めていきたい

本市の幼児教育及び保育に関する事項並びに幼児施設の設置に関する諮問機関である伊東市幼児施設・連絡調整協議会において、令和六年度に、市立の認定こども園の設置に向けて調査・審議を進めていただく計画である。

また、整備については、施設の老朽化を課題として抱える公立保育園の中でも特に老朽化が著しく、耐震化が困難な宇佐美保育園の課題を解決するため、宇佐美地区内での検討を進めている。

『その他の質疑』二四項目



公明党
しのはらみこ
(篠原峰子議員)

多様な教育的ニーズに対応した適切な支援を行うための取組内容を伺う

市長

別室登校相談員の新規配置や教職員の研修を強化していく

第五次伊東市総合計画の政策目標の一つである「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」の実現のため、多様な教育的ニーズに対応するとともに児童・生徒一人一人の状況に応じた適切な支援を行うため、支援員の適正な配置や教職員の研修を強化していく。

支援員の適正な配置については、各校の状況等を総合的に判断して、必要な支援員を配置している。主なものとして、新規に

別室登校相談員を中学校五校に対し三人を配置し、不登校傾向の生徒への学習活動支援、相談対応を行い、校内の教職員や教育支援センターとも連携していく予定である。

教職員研修の強化については、各校での重要性が増している低学年支援員、特別支援教育支援員、特別支援学級支援員にそれぞれ年三回の全員参加の研修を行い、より一層支援の充実に努めていく。

『その他の質疑』 一七項目



伊東未来
おおかわみづひろ
(大川勝弘議員)

小・中学校における空調設備設置事業の内容を伺う

市長

猛暑日増加による授業への影響を考慮し、理科室や美術室等の特別教室へも空調設備を設置する事業である

小・中学校における空調設備設置事業について、普通教室においては、令和二年度に全校への整備を実施したが、特別教室においては、パソコン室や中学校の音楽室への設置にとどまっております。昨今の猛暑日が増加する中、特別教室で実施する授業に及ぼす影響が大きいと判断したことから、整備を進めることとした。

設置対象としては、小学校においては音楽室や理科室等を、中学校においては理科室や美術室のほか、学校生活で活用される部屋への整備も予定している。

工事の実施時期については、現在進めている設計業務委託の中で、電気やガスなどの熱源選定も含め、インシヤルコストやランニングコスト等について比較検討するとともに、授業に対する影響を加味するなど、通常の学校運営に支障を来さないよう、学校現場との協議を重ね、早期に実施できるよう進めていく。

『その他の質疑』 一八項目



政和会
すぎもとかずや
(杉本憲也議員)

令和六年度予算編成において、積極的に民間委託を推奨する意図を伺う

市長

限られた人的資源等を多様化する行政需要に選択・集中化するための一つの手段として進めている

事務事業の民間委託については、簡素で効率的な行政運営の実現に向けた手法の一つであり、人口減少や高齢化の進む中、多様化する行政需要への対応を全て行政が担うことは限界があるため、民間が担うほうが効率的、効果的な事務事業については民間に任せるとして、行政の限られた人的、財的資源を選択・集中化するための手段として進めていく必要がある。

『その他の質疑』 四項目



颯
たくぼまさき
(田久保真紀議員)

新図書館建設事業に関し、再設計をどのように実施するのか伺う

市長

従来計画のコンセプト・概念を変更することなく全体事業費の縮減を目指し再設計業務を行っていく

再設計は、従来計画のコンセプト・概念を変更することなく、蔵書冊数や閲覧スペースの縮小、類似する各種機能の整理等での施工床面積の削減などで全体事業費を縮減させ、確実な工事入札の成立を目指す。

また、本年二月のアンケート結果の反映や効果的な情報発信方法を併せて検討する中で再設計を進め、令和七年度早期での工事発注を目指していく。

『その他の質疑』 二項目



いぬかい
犬飼このり議員
(会派に所属していない)

移住定住促進住宅改修支援事業の概要について伺う

市長

移住者が市内の中古物件を取得し、リフォームをする際の費用の一部を補助する事業である。対象者は転入日以前五年間で本市住民登録がない方などとしており、補助金額は、居住の用に供する箇所の改修工事を一〇〇万円以上行った際、一戸につき一回一五万円を限度としている。

『その他の質疑』 二項目



しげおかひでこ
重岡秀子議員
(会派に所属していない)

伊東駅前広場整備計画の進捗状況及び今後の見通しについて伺う

市長

伊東駅前広場整備計画は、令和四年度に駅前広場の測量及び概略設計を実施し、五年度は詳細設計を行った。

令和六年度は、同計画の都市計画決定を行うほか、土地の境界確定に向けた測量及び物件補償調査を予定し、その後、関係者と用地交渉の開始を考えている。

『その他の質疑』 三項目

議会内の異動

三月十九日

会派の解散

颯

※会派の解散は三月定例会の会期中に行われたため、大綱質疑及び一般質問の記事は解散前、討論の記事は解散後のものとなっています。



一 般 質 問



動画はこちら

12議員が登壇し、市政全般について質問しました

(登壇順に掲載しています)



むしあきひろ 虫明弘雄議員 (自由民主 伊東)

新図書館建設に向けた再設計に伴い、建設予定地にある源泉の今後の取扱いについて改めて伺う

新図書館建設予定地にある市内で最も湯量が多く温度が高いとされている源泉を含む複数の源泉について、様々な活用方法を協議した上で、現計画においては埋め立てるとの判断があったが、今後予定されている新図書館建設事業の見直しに伴い、改めて今後の当該源泉の取扱いを伺う。

市長 新図書館に与える影響・効果を勘案し、源泉の利活用を判断する

新図書館建設予定地の源泉については、温泉導入による保守点数の増加などの各種要因により、活用しな

い方向で新図書館建設事業を進めていたが、令和五年度の入札不調を踏まえ、令和六年度中に規模縮小の再設計を実施する予定である。再設計に際しては、図書館に必要な機能等の優先順位を精査しつつ、源泉の利活用について、当該源泉の客観的なデータに基づき、改めて再設計に与える影響や将来的な効果を勘案する中で判断する。

『その他の質問』 七項目



すずき あやこ 鈴木絢子議員 (正風クラブ)

子供施策について、組織横断的なチーム等を創設する考えはないか伺う

年々減少傾向にある出生数及び増加傾向にある若者の流出状況を踏まえ、今後、まちづくり、教育、子育てしやすい環境、働きながら子供を育てられる環境づく

りなど、総合的な取組を行う必要があると考えることから、組織を横断した子供について総合的に考える課の創設またはプロジェクトチームなどを設置する考えはないか伺う。

市長

子供・子育て支援施策の効率化等につながる組織のあり方を検討していく

子供・子育てに関する施策に関し、組織を横断した子供について総合的に考える課の創設またはプロジェクトチームの設置について、現時点では新たな課を設置することは考えていないが、子供・子育て施策の推進に当たり、担当課のみならず、課題に応じて関係部署と連携した対応の必要性を認識しており、引き続き子供・子育て支援施策の効率的かつ効果的な執行につながる組織の在り方を検討していく。

『その他の質問』 五項目



すぎもとかずひこ
杉本一彦議員
(伊東未来)

本市の労働者不足の現状と対策及び外国人技能実習生等の受入れについて伺う

本市では若者の首都圏への流出や少子高齢化が進み、事業所における労働者不足の問題は深刻であると考えるが、本市の現状と今後の対策を伺う。また、労働者不足の解消には外国人技能実習生等の受入れは不可欠であると考えるがいかがか。

市長

関係機関と連携し、雇用機会

本市の新規求人数の約半数を宿泊・飲食サービス業や医療・福祉関連事業が占めており、労働力不足への対策として、人材サービス会社と協定を締結し、セミナーの実施など雇用につながる取組を進めている。ま

た、県の事業と連携し子育て世代やシニア世代等が短い時間でも働ける求人サイト「伊東マッチボックス」を開設し、事業所が業務の細分化等見直しを図り、新たな労働力の確保につながっている。また、外国人技能実習生等の受入れは商工会議所等と連携し、外国人材活用セミナー等の開催による事業者とのマッチングの機会の創出を検討していく。

『その他の質問』 五項目



かわしまきみえ
河島紀美恵議員
(自由民主 伊東)

感震ブレイカーや防災ベッド等の設置に係る費用の助成制度を導入する見通しについて伺う

能登半島地震における輪島市朝市の火災は、地震による電気配線の損傷でショートしたことが発火原因と報道されており、住宅火災

を防止する効果が期待される感震ブレイカーが注目されている。また、阪神・淡路大震災では、亡くなられた方々の八四％が、家屋の倒壊等による圧死であったことから、住宅の耐震化を進められているが、費用面等から耐震補強を行えない場合の代替措置として、家屋が倒壊しても、安全な空間を確保できる防災ベッド等が開発されている。

前述の防災用具等の設置費用の助成制度の導入に関し、本市の見通しを伺う。

市長

助成制度等の先進事例の調査、研究を進める

本市においては、現在、感震ブレイカーや防災ベッド等の設置に対する助成制度はないが、いずれも減災の効果はあるものと認識していることから、他市町の先進事例などについて、調査、研究を進めていきたい。

『その他の質問』 九項目



たけもとりきや
竹本力哉議員
(公明党)

本市の企業誘致に関する具体的な取組について伺う

政府が進める法人税の減税により企業の地方移転を促す地方拠点強化税制や、コロナ禍からの企業の地方移転などのトレンドがあるなか、本市においても企業誘致に関する様々な施策を展開してきているが、これまでの経過及び具体的な施策について伺う。

市長

新たに企業と地域の交流を促進する取組などにより、さらなる強化を図っていく

本市における企業誘致は、サテライトオフィスの誘致施策を中心に取り組んでおり、企業とのマッチングイベントへの参加や、候補企業の面談等に加え、令和元年度から、静岡県東京事務

所への継続した職員派遣等、地方に進出する意欲のある企業との接点づくりを積極的に行ってきたほか、企業に対し、仕事環境の整備や本市への進出に向けた取組への補助を行ってきた。

新年度は、「地域課題解決型プラン推進事業」として企業と地域の交流を促進し、新たなビジネス展開や本市への進出の機会を創出する新たな取組も実施する。

『その他の質問』 七項目



むらかみしゅうへい
村上祥平議員
(正風クラブ)

小室山公園を子供の遊べる公園として整備する考えはあるか伺う

本市の総合公園に指定されている小室山公園は、家族で芝そりやアスレチックで遊ぶなど親しまれてきたが、広場の芝から石が出ている箇所もあり、子育て世

代からけがの心配や遊具の充実を望む声がある。市内においても子供の遊び場を求める声が増えていることから、小室山公園を子供の遊べる公園として整備する考えはあるか伺う。

市長

子供の遊べる公園としての魅力向上を図っていく

小室山公園は本市を代表する観光施設としての魅力向上と併せ、子供が楽しく遊べる環境整備を進めてきた。恐竜広場にアスレチック遊具を整備したほか、要望を受け、幼児用遊具を整備するなど、公園の利便性と魅力向上を図り、多くの家族連れに楽しんでいただいている。今後も幅広い年代の子供たちが安全・安心に遊べるよう、利用者の意見や要望を伺い、遊具や休憩場所の整備を計画的に進め、子供の遊べる公園としての魅力向上を図っていく。

『その他の質問』 一一項目



あさだよしひろ 浅田良弘議員 (鯛)

災害時の医療救護体制について伺う

能登半島地震を契機に、改めて災害に備える必要があると考え、命を救うために重要な災害直後の医療救護体制について、市民病院や地域の医療機関との連携体制などの現状を伺う。

市長

医療救護計画の下、医療機関ごと医療機能を分担する体制となっている

災害時の医療救護体制は、地震等による傷病者の発生を想定して策定された医療救護計画に規定されており、各医療機関等で機能を分担する計画となっている。災害対策本部の判断により設置される救護所においては、医師会等の関係団体や本市職員等により、発災から約

七十二時間の救護活動を行うこととなっており、また、救護病院に準じる医療救護施設として、市内医療機関七施設を指定しており、医師会作成の災害時医療救護マニュアルに基づき運営いただくこととなっている。

また、災害拠点病院として指定されている伊東市民病院においては、重症傷病者の受入れ等を担うこととなっている。

『その他の質問』 五項目



しのみやかずひこ 四宮和彦議員 (政和会)

本市における市際収支について伺う

市際収支とは、地域間での取引における収支関係を表し、国際収支の考え方を準用するものである。

市際収支において、黒字となっており、産業分野の育成とさらなる成長、赤字と

なっている産業分野の赤字幅の縮小など、行政が明確にターゲットを絞って、産業・経済政策を戦略的に実践していくことが非常に重要であることから、本市における認識を伺う。

市長

市内の需要の多くを市外からの調達に頼っている状況と認識している

市際収支については、市外との取引額を表すものであり、財・サービスの移出入額の差引きで計算されるものと認識している。

地域経済システムR¹、E¹、S¹、A¹によると、地域産業の移輸出収支額を含む「その他の支出」において、本市における二〇一八年の支出流出入率はマイナス九〇・七％であり、産業間取引において市内の需要の多くを市外からの調達に頼っている状況を表しているものと考えている。

『その他の質問』 六項目



たくほまき 田久保真紀議員 (鯛)

再設計を予定する新図書館建設事業に関し、見直し内容の説明方法とともに、見直し後の運営方針等を伺う

再設計が予定されている新図書館建設事業に関し、市民への見直し内容の説明をどのように考えているか伺うとともに、見直し後の施設の運営方針や維持管理についても伺う。

教育長

説明会の開催やホームページ等で周知を図る。また、従来計画同様、民間委託による運営を考えている

再設計に際し、意見聴取を目的にアンケートを実施し、それを踏まえ、令和六年度早期に再設計の方向性等を説明する機会を設ける予定である。また、再設計後も計画概要等をホーム

ページに掲載するなど、新図書館建設への理解が深まる取組を検討している。

運営方法については、リサイズ後も現図書館に比べ面積の増大や、開館日数、開館時間の増加を見込むことから、現時点では、従来計画と同様に、民間委託の方向で考えている。

維持管理費についても、従来計画同様、コストダウンに努めていく。

『その他の質問』 一項目



杉本憲也議員 (政和会)

市職員間のハラスメントに関し、相談を含めた認知状況を伺う

行政が十分に機能するためには、行政職員である市職員が最大限スキルを発揮できる環境の整備とともに、安心して働ける職場環境の存在が必須となることから、

本市職員間のハラスメントに関し、相談を含めた認知状況を伺う。

市長

内部窓口への相談等が数件あり、ハラスメントの未然防止に努めた

本市におけるハラスメント等の相談体制は、内部相談窓口として、職員課長及び各課のコンプライアンスリーダーがその役割を担うとともに、外部の相談機会として、精神保健福祉士による月一回のよろず相談と弁護士事務所への外部相談窓口を設置している。また、全庁的な状況を把握するため、アンケート調査を実施した。

認知状況としては、職員課長への相談が二件、アンケート調査により推定されたものが四件あったが、ハラスメント行為の認定までには至らず、対象者への注意喚起を行った。

『その他の質問』 八項目



重岡秀子議員 (会派に所属していない)

経済支援策として給食費の無償化を実施するべきと考えるが、本市の考えを伺う

本市における市民の平均所得は、全国的に見て高くない状況であり、長引く物価高騰の影響により、子育て世帯の経済的負担が増加していると思われることから、子育て支援等につながる給食費の無償化を実施するべきと考えるが、本市の考えを伺う。

市長

公費による支援を行い、保護者の負担額を抑えつつ、国の無償化の動向を注視していく

給食費の無償化については、必要経費の試算を行うほか、恒久的な財源確保や受益者負担の観点等から慎重に検討を行っている。

現在の物価高騰の影響により、保護者が負担している給食費だけでは、学校給食栄養基準を満たすための食材等の購入が困難なため、公費による支援を行うことにより、保護者の負担額を抑えつつ、給食の質と安全管理を確保して学校給食を運営している。今後も、可能な限りの支援策を講じながら、国の給食無償化の動向を注視していく。

『その他の質問』 六項目



犬飼このり議員 (会派に所属していない)

インクルーシブ防災に向けた取組状況及び個別避難計画の策定状況について伺う

東日本大震災では、多くの高齢者及び障がい者の命が失われており、また、高齢者等からは、避難が必要になったら諦めるとの声も聞くことから、インクルーシブ防災に向けた取組状況を伺うとともに、支援が必要な人をサポートする個別避難計画の策定状況を伺う。

市長

避難所に専用スペースを設けるなど、避難生活の配慮に努める

インクルーシブ防災は、障がい者を含むあらゆる人を取り残さないという防災の考え方であり、防災対策を進める上で非常に大切な考え方であると認識していることから、体育館などの避難所に要配慮者が来た場合、間仕切りなどを利用して専用スペースを設けるなど、避難生活の配慮に努めるほか、福祉避難所を利用していたり二次避難先の確保も検討している。個別避難計画の策定状況は、対象者のうち同意を得られた方から順次、避難支援関係者等と連携を図りながら作成を進めている。

『その他の質問』 五項目

議会改革特別委員会

中間報告



本委員会
ホームページ
はこちら

1 令和六年一月一六日 委員会開催

まず、本委員会については、議会に関する諸課題について幅広くかつ時代に対応した見直しを行うため設置されたことが確認され、続いて、前期からの課題である、議案の分割付託解消を目的とした「予算・決算の審議・審査方法の見直しについて」を本委員会での最優先協議事項とし、今後、重点的に協議していくことと決定しました。

次に、本委員会において協議を行いたい事項の提案を受け、議会運営の見直しに関する事項、議会のICT化に関する事項、議会機能の充実・強化に関する事項、開かれた議会への取組に関する事項など計二一項目の提案がありました。

このほか、定例会月を除き月一回程度、委員会を開催していくことを決定しました。

2 令和六年二月五日 委員会開催

まず、予算・決算の審査方法を見直す前提として、分割付託への認識が改めて確認され、全委員とも解消していくことで異論はありませんでした。

その後、具体的な協議として、質疑方法に関し議論が行われ、慎重な議論の必要性から、会派等で検討を行った上で、改めて協議していくこととしました。

次に、前回の委員会において提案がされた協議事項について、一覧表配付とともに確認がされ、最優先協議事項と関係がある「委員会の同時開催の解消について」を次回、協議していくこととしました。

3 令和六年二月二〇日 中間報告

令和六年三月定例会初日において、本特別委員会の中間報告を行い、異議なく了承されました。

6月定例会の予定

6月14日(金)開会

※日程等は、6月上旬の議会運営委員会において正式に決定します。
詳細は市議会ホームページにてご確認ください。

閉会中の議会活動

令和5年12月定例会閉会から令和6年3月定例会開会まで

- 1月10日 常任福祉文教委員会協議会
- 1月16日 議会改革特別委員会
- 1月26日 議会報編集委員会
- 2月 5日 議会改革特別委員会
- 2月 6日 常任総務委員会協議会
- 2月 7日 常任観光建設委員会協議会
- 2月14日 議会運営委員会



「声のいとう市議会 だより」のおしらせ

市議会では、目の不自由な方に議会の情報をお届けするため、エフエム伊東なぎさステーションに依頼し、市議会だより紙面の一部を音訳した「声のいとう市議会だより」を作成しています。

収録の内容は、議員による一般質問や大綱質疑が中心となりますが、皆さんからのご意見やご感想をもとに、よりよいものを作成していきたいと思っています。

この「声のいとう市議会だより」は、市議会ホームページにデータを掲載するほか、ご希望の方へ内容を収録したカセットテープを配付しています。

テープの配付は原則視覚障がいの方が対象となります。配付をご希望の方は市役所社会福祉課障がい福祉係までお問合せください。

社会福祉課障がい福祉係
☎五五七三二一五三三

市議会内の会派構成 (令和六年三月一日現在)

正風クラブ

- 村上 祥平 議員
- 鈴木 絢子 議員
- ◎佐藤 周 議員
- 宮崎 雅薫 議員

自由民主 伊東

- 虫明 弘雄 議員
- 河島紀美恵 議員
- 中島 弘道 議員
- ◎井戸 清司 議員

公明党

- ◎長沢 正 議員
- 竹本 力哉 議員
- 篠原 峰子 議員

伊東未来

- 青木 敬博 議員
- ◎大川 勝弘 議員
- 杉本 一彦 議員

政和会

- ◎四宮 和彦 議員
- 杉本 憲也 議員

※(令和六年三月一九日解散)

- 田久保眞紀 議員
- ◎浅田 良弘 議員

会派に所属していない

- 犬飼このり 議員
- 重岡 秀子 議員

(◎) 会派代表者、
会派構成議員は議席順)

常任委員会だより

～3月11日、12日に行われた常任委員会審査の中から、一部を抜粋～

ホームページにおいて、
各委員会要点記録を公開しております。 [各委員会要点記録はこちら](#)



総務委員会

問 令和6年9月に静岡県と合同で実施する総合防災訓練の実施内容を伺う。

答 メイン会場である市民運動場において、伊東消防署が中心となり、警察、自衛隊と合同で実施する土砂災害や倒壊家屋からの救助訓練をはじめ、救護所運営訓練、ペット同行避難訓練、避難所運営訓練、遺体収容所運営訓練などを市の訓練として実施予定である。

また、陸路、空路、海路を用いた支援物資輸送訓練や津波避難ビルからの救出訓練などを県の訓練として実施予定である。



令和5年9月
伊東市総合防災訓練の様子

観光建設委員会

問 森林整備の推進に関する取組について伺う。

答 森林が多く存在する地区から、順次、森林経営管理意向調査をしており、今後は宇佐美地区での調査をすることにより、森林面積の占める割合が多い地区の調査は概ね終了する。

また、令和元年に森林経営管理意向調査を実施した岡地区の森林所有者から、森林の管理経営を委託したい旨の意向が示されたため、経営管理集積計画を作成した後、令和6年度から8年度までの3か年を対象とした森林経営権を設定し、本市から林業経営者に森林の管理を委託することを予定している。



適切に管理がされている森林

福祉文教委員会

問 初回産科受診料助成事業の概要を伺う。

答 本事業は、妊娠判定に係る医療費を助成するもので、基本の助成方法としては、受診された窓口において、医療費を支払わないで済むよう、制度設計を行う。事業実施の目的としては、妊娠の可能性がある際に、経済的な問題を抱えている場合などにおいても、ちゅうちょなく病院受診ができる体制を整えることにより、早い段階での妊娠届の提出を促し、速やかに妊婦が必要とする支援へつなげるといった、安心・安全な妊娠・出産をかなえるため実施するものである。



早い段階での病院受診を促し、
必要な支援へつなげる

編集後記

ビーチを取り巻く環境は、時代とともに変化しており、一九八五年をピークに三〇年間で海水浴客は八割減の二割まで減っています。オレンジビーチも他人事ではなく、良くも悪くも五〇年以上大きな変化はなく海水浴客は激減しています。近年では、海水浴よりもアクティビティやスポーツ・デート・撮影と用途に変化があります。オレンジビーチも市民の皆様、観光客が行きたくなるような変化が必要と感じます。

(大川勝弘)

議会報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 杉本 憲也 |
| 副委員長 | 大川 勝弘 |
| 委員 | 村上 祥平 |
| 〃 | 河島紀美恵 |
| 〃 | 竹本 力哉 |
- 市議会に関するご意見
ご質問は議会事務局へ